

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大泉保育福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 三吉

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配 置 困 難
保育専門課程	保育科	夜・ 通信	74	6	
社会福祉専門課程	福祉科	夜・ 通信	99	6	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

保育科	<a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/jitsuho.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/jitsuho.pdf</a>
福祉科	<a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/jitsufu.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/jitsufu.pdf</a>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	
該当なし	

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映する組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	大泉保育福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 三吉

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	実習施設関係者、卒業生、保護者等の学校関係者などにより構成された評価委員会が、自己評価結果についてそれぞれの観点から意見を述べ、指導助言を行うことにより、学校運営の改善を図ることを目的とする。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考(学校と関連する経歴等)
保育園園長	2020年4月1日～ 2023年3月31日	実習園園長
障害福祉サービス事業所所長	2020年4月1日～ 2023年3月31日	実習園施設長
特別養護老人ホーム職員	2020年4月1日～ 2023年3月31日	実習園指導者
救護施設職員	2020年4月1日～ 2023年3月31日	福祉科卒業生
保育教諭	2020年4月1日～ 2023年3月31日	保育科卒業生
一般企業	2020年4月1日～ 2023年3月31日	保護者
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	大泉保育福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 三吉

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業科目ごとに、授業の概要、到達目標、授業計画、成績評価方法および基準を記載した「授業概要」の冊子を製作し、新年度開始時に全学生へ配付している。 また、本校ホームページ内で公開をしている。</p>	
<p>授業計画の公表方法</p>	<p>保育科 <a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/syllabusho.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/syllabusho.pdf</a> 福祉科 <a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/syllabusfu.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/syllabusfu.pdf</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各科目の特性に応じて筆記試験、実技試験、授業態度、提出物などを総合して100点満点で行い、科目履修の認定にあたっては60点に達することが必要である。なお成績評価表への成績評価は、A（優 80～100点）、B（良 70～79点）、C（可 60～69点）、D（不可 0～59点）の4段階で評価を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>100点満点で行った成績評価点から、各学生の平均点を求め、成績評価順位付けを行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/shihyo.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/shihyo.pdf</a></p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマポリシー (卒業認定方針)

保育科

1. 保育に関する専門的知識・技術を習得し、実践の場で応用することが出来る。
2. ゼミ活動やボランティア等に積極的に参加し様々な事に気づき、人と協力をする事の大切さを学ぶと共に自分なりの考えを持ち表現する。
3. 2年間の学習で保育の目的や対象を理解し、実習を通して現状や課題を知り、子どもや保護者一人一人に対して必要な支援ができるようになる。

福祉科

1. 科学的根拠に基づいた情報の分析ができ、課題抽出から利用者のニーズを引き出せる介護過程の展開ができる。
2. 利用者や家族、校外活動を通し、様々な人との出会いからコミュニケーション能力を身につけることができる。
3. 2年間の介護福祉教育のまとめとして事例研究を行い、発表できる。

卒業要件 (必修・選択科目別の必要単位数)

保育科

授業科目区分		取得単位数
教養科目	必須科目	2 単位
	選択科目	6 単位以上
	教養合計	8 単位以上
専門科目	必須科目	5 4 単位
	選択科目	6 単位以上
	専門合計	6 0 単位以上
合 計		6 8 単位以上

福祉科

授業系列区分		取得単位数
人間と社会	必須科目	1 0 単位
	選択科目	3 単位以上
	人間と社会合計	1 4 単位以上
介護	必須科目	4 4 単位
	選択科目	4 単位
	介護合計	4 8 単位
こころとからだのしくみ	必須科目	2 0 単位
医療的ケア	必須科目	4 単位
合 計		8 6 単位以上

卒業判定会議を開催し、各学生の単位取得状況を確認した上で、卒業認定を行っている。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/sotunintei.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大泉保育福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 三吉

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/taishaku.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/taishaku.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/shukeisan.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/shukeisan.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/zaisan.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/zaisan.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/jigyohokoku.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/jigyohokoku.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/kansahokoku.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/kansahokoku.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		保育専門課程	保育科 保育士コース	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	68単位	35単位	46単位	8単位	1単位	
			90単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200の内数		48人	0人	8の内数	17の内数	25の内数	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		保育専門課程	保育科 (保育士・幼稚園教諭コース)	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	68単位	34単位	49単位	10単位	1単位	
			94単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200の内数		92人	0人	8の内数	17の内数	25の内数	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		社会福祉専門課程	福祉科	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	86単位	64単位	21単位	14単位	単位	単位
			99単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		29人	0人	3人	7人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)																					
(概要) 授業科目ごとに、授業の概要、到達目標、授業計画、成績評価方法および基準を記載した「授業概要」の冊子を製作し、全学生へ配付している。 また、本校ホームページ内で公開をしている。																					
成績評価の基準・方法																					
(概要) 成績評価は各科目の特性に応じて筆記試験、実技試験、授業態度、提出物などを総合して100点満点で行い、科目履修の認定にあたっては60点に達することが必要である。なお成績評価表への成績評価は、A(80～100点)、B(70～79点)、C(60～69点)、D(0～59点)の4段階とし、各科目の成績評価点より、取得した点数の平均点を求め、成績評価順位付けを行う。																					
卒業・進級の認定基準																					
(概要) ① 進級認定基準 その学年で履修すべき科目の3分の2以上の単位を修得 ② 卒業認定基準 (必修・選択科目別の必要単位数)																					
保育科																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">授業科目区分</th> <th>取得単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">教養科目</td> <td>必須科目</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>選択科目</td> <td>6単位以上</td> </tr> <tr> <td>教養合計</td> <td>8単位以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門科目</td> <td>必須科目</td> <td>54単位</td> </tr> <tr> <td>選択科目</td> <td>6単位以上</td> </tr> <tr> <td>専門合計</td> <td>60単位以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>68単位以上</td> </tr> </tbody> </table>		授業科目区分		取得単位数	教養科目	必須科目	2単位	選択科目	6単位以上	教養合計	8単位以上	専門科目	必須科目	54単位	選択科目	6単位以上	専門合計	60単位以上	合計		68単位以上
授業科目区分		取得単位数																			
教養科目	必須科目	2単位																			
	選択科目	6単位以上																			
	教養合計	8単位以上																			
専門科目	必須科目	54単位																			
	選択科目	6単位以上																			
	専門合計	60単位以上																			
合計		68単位以上																			
福祉科																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">授業系列区分</th> <th>取得単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人間と社会</td> <td>必須科目</td> <td>10単位</td> </tr> <tr> <td>選択科目</td> <td>4単位以上</td> </tr> <tr> <td>人間と社会合計</td> <td>14単位以上</td> </tr> <tr> <td>介護</td> <td>必須科目</td> <td>44単位</td> </tr> </tbody> </table>		授業系列区分		取得単位数	人間と社会	必須科目	10単位	選択科目	4単位以上	人間と社会合計	14単位以上	介護	必須科目	44単位							
授業系列区分		取得単位数																			
人間と社会	必須科目	10単位																			
	選択科目	4単位以上																			
	人間と社会合計	14単位以上																			
介護	必須科目	44単位																			

	選択科目	4 単位	
	介護合計	4 8 単位	
こころとからだのしくみ	必須科目	2 0 単位	
医療的ケア	必須科目	4 単位	
合 計		8 6 単位以上	
学修支援等			
(概要)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームルームアドバイザー制（担任制）によるきめ細かい学生対応</li> <li>・学力不振者への補習授業の実施</li> </ul>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
保育科			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 8 人 (100%)	0 人 ( 0%)	6 8 人 (100%)	0 人 ( 0%)
(主な就職、業界等)			
保育所、幼稚園、認定こども園、児童養護施設、放課後児童クラブ等			
(就職指導内容)			
就職指導は1年次後半よりスタート。独自の「就職ガイドブック」に基づき、就職ガイダンス、基礎教養の開講、進路相談・個人面談とステップを進め、ホームルームアドバイザー制（担任制）による一人一人のニーズに合ったアドバイスで、学生の立場に立った進路指導を行っている。職業理解や就業のミスマッチを防ぐよう配慮し、ほぼすべての卒業生が専門性を活かしたところへ就職している。			
(主な学修成果（資格・検定等））			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士コース：保育士、専門士、児童厚生2級指導員、レクリエーションインストラクター</li> <li>・保育士・幼稚園教諭コース（小田原短期大学教育連携）：保育士、専門士、幼稚園教諭二種免許状、短期大学士、レクリエーションインストラクター</li> </ul>			
(備考)（任意記載事項）			
2019年度 1人あたり12.7件の求人件数あり			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
福祉科			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 3 人 (100%)	0 人 ( 0%)	1 2 人 (92.3%)	1 人 (7.7%)
(主な就職、業界等)			
特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、通所介護（デイサービス）訪問介護等			

(就職指導内容) 就職指導は1年次後半よりスタート。独自の「就職ガイドブック」に基づき、就職ガイダンス、基礎教養の開講、進路相談・個人面談とステップを進め、ホームルームアドバイザー制（担任制）による一人一人のニーズに合ったアドバイスで、学生の立場に立った進路指導を行っている。職業理解や就業のミスマッチを防ぐよう配慮し、ほぼすべての卒業生が専門性を活かしたところへ就職している。
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士受験資格、専門士、レクリエーションインストラクター
(備考)（任意記載事項） 2019年度 1人あたり44.9件の求人件数あり

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
179人	13人	7.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、学力不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者を含めた三者面談、学力不振者への補習授業、各種奨学金等を含めた学費支払い相談		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
保育科 (保育士コース)	140,000円	540,000円	160,000円	設備費、実習費
保育科 (保育士・幼稚園教諭コース)	140,000円	790,000円	160,000円	設備費、実習費
福祉科	140,000円	520,000円	160,000円	設備費、実習費
修学支援（任意記載事項）				
特待生制度：入学年度の前期授業料より20万円免除 奨学金制度：入学年度の前期授業料より10万円、後期授業料より10万円免除 校内奨学生制度：最大20万円まで給付				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
<a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/jikohyoka.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/jikohyoka.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>学校関係者評価委員会の構成（4～6名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養成教育に係る実習施設関係者代表 2～3名</li> <li>・本校卒業生または保護者 2～3名</li> </ul> <p>委員の選任については、学校長が行う。</p> <p>学校関係者などにより構成された評価委員会は、本校が実施した自己評価の結果及び教育課程、学生の進路指導等に関しそれぞれの観点から意見を述べ、指導助言を行う。その結果は、学校長を中心として翌年度の学校運営改善に反映させていく。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
保育園園長	2020年4月1日～ 2023年3月31日	実習園園長
障害福祉サービス事業所所長	2020年4月1日～ 2023年3月31日	実習園施設長
特別養護老人ホーム職員	2020年4月1日～ 2023年3月31日	実習園指導者
救護施設職員	2020年4月1日～ 2023年3月31日	福祉科卒業生
保育教諭	2020年4月1日～ 2023年3月31日	保育科卒業生
一般企業	2020年4月1日～ 2023年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p><a href="https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/kankeisyahyoka.pdf">https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/kankeisyahyoka.pdf</a></p>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

<https://www.oizumihosen.ac.jp/kokai/kokai.pdf>